

ひまわり

令和7年6月号



↑カラー版はこちらから

『涼しげな花 露草（つゆくさ）』

校長 門脇 伸也

5月31日(土)、今年度初の御家族のための学校公開日としました。御来校ありがとうございました。

6月、梅雨の中休みといった真夏のような猛暑の日が一週間ほど続きました。まだ暑さに慣れてない中で体調をくずされた方も多くいたことと存じます。このような中で、涼しげに咲く小さな露草を本校の敷地の片隅で見つけました。朝露に濡れて、朝に咲いたものが、昼過ぎにはもうしぼんでしまうのですが、ひっそりと咲く露草に一瞬の涼を感じました。小さくて、ひ弱に見えて、可憐なイメージの花ですが、実はたくましい生命力のある植物です。そして、この花は美しいだけでなく、古くから染料や生薬としても利用されたり、華やかな友禅染にも欠かせない役割を果たしたり、役に立つ現実的な花だと言うことをご存じでしょうか。私は、時折香を焚きます。とりわけ暑い日の夕暮れに『露草の香』を焚きますと、涼しげな香りがして、不思議なほど気持ちが落ち着いてまいります。名前の由来など、様々な側面から大変興味深い植物です。



※本校敷地にて校長撮影

昔から人々は、その美しい青い花の色を、残したいと思ったのでしょうか。花を布にこすりつけて染める『摺り染め』にしたり、『青花紙（あおばながみ）』をこしらえたりしました。『青花紙』は青花の汁を搾って和紙に塗り、乾かし、また塗っては乾かしを繰り返して、濃い色素を定着させて作ります。この青花紙は小さく切って水を加えると、青い汁が溶け出します。青い汁は、江戸時代には水に流れるという特性を活かして、友禅の下絵を描く時に使われました。色を挿し、金を載せて、刺繍することで豪華に、そして華やかになる友禅染の、最初の一步が、この青い色となるのです。下絵の青だけが流れて消える。可憐な花ですが、役立つ現実的な花なのです。

さて、5月の新緑の色から6月の梅雨の色へと目に飛び込んで来ます。梅雨時のあじさいの花の青色、水色、青紫色、海の水色、空の青色、雨は何色かな、プールの水底には何色かな、子どもたちへ気付いて欲しい色の話題は身近なところにあります。色だけではありません。香りや音、形等々、何をどのように気付かせ、伝えたいか、大人から子どもへ気付かせることはたくさんあります。

少し時期としては早い話ですが、今年の夏休みは、校舎の床材の取り替え工事が7月22日から始まります。例年の夏季登校期間がなくなってしまうので、お子様と過ごす夏休みの過ごし方について、今からご準備をされることをお勧めいたします。

「そんなこと言ったら、どんなことを準備したらいいんだ」と、声が聞こえてきそうですね。良い絵本をお子様とご覧になるゆとりある時間を作ってはいかがでしょうか。もし、よろしければ本校2階の図書コーナーや身近な図書館の絵本陳列棚へ足を運んで見ませんか。本校の2階の図書コーナーは、毎月、(株)図書館流通センターの方が来て、お薦めの絵本を子どもたちの目に止まるように整理し、ディスプレイしてくれています。最近の絵本は内容が豊富です。素材に工夫がある触れることの楽しい絵本もあります。音が出たり、絵が飛び出たり、大きさも色使いも含め宝箱のようなものもあります。

最後になりますが梅雨時の過ごし方にご注意ください。この時期は低気圧や高湿度、気温の変化など気象条件が自律神経のバランスを崩しやすく、様々な体調不良を引き起こす可能性があります。皆様ご自愛ください。

「こすもすグループ 半日校外学習 ～代々木ポニー公園～」

今年度の小学部こすもす①②グループの半日校外学習は、渋谷区立代々木ポニー公園へ行きました。学校からスクールバスで15分ほどで到着し、まずはポニー達と一緒に集合写真を撮りました。ポニーの大きな体と鳴き声に、驚く児童もいれば、大笑いする児童もいました。

公園の職員の方の説明を聞いてから、3頭のポニーとの触れ合い体験の時間が始まりました。教員と一緒に頭を優しくなでたり、ブラシを持って背中をブラッシングしたりしました。最後は、人参の餌やり体験をしました。一人ずつポニーの前に車椅子や介助歩行で移動し、人参を教員としっかり握りしめてポニーにあげることができました。3頭のポニー達も体を揺らして喜んで、もらった人参をよく食べていました。

梅雨前の良い天気の下、1時間ほどの体験でしたがポニー達と触れ合い、友達と一緒に校外で安全に過ごすことができました。



「高学年つくしグループ半日校外学習」

6月13日(金)に、小学部高学年つくしグループで新宿区立新宿歴史博物館に行きました。博物館の駐車場に着くと、施設の職員の方2名が出迎えてくれ、退館するまで終始案内してくださいました。

最初に講堂という広い場所で、昔区民に使われていた洗濯板や黒電話、羽釜などの民具について職員の方の説明を聞いて、実際に触らせてもらいました。初めて触る感触に、児童は目を輝かせていました。その後、展示場で新宿区や日本文化の歴史などを見学して学びました。昔の建物や電車の車両の展示物を見て、興味津々な様子でした。

曇り空でしたがとても過ごしやすい気温で、のびのびと楽しく見学することができた校外学習でした。貴重な体験と学びになったと思います。



研究部より

「今年度の研究がスタートしました！」

今年度は、「特別支援学校における自立活動の充実～実態把握・目標設定シートを活用して～」と題して、研究を深めていきます。

5月2日(金)には、講師をお迎えして「授業研究で深化する個別の指導計画と自立活動の実践力」についてお話を伺いました。自立活動の指導は、『What「何を」+How「どのように」+Why「なぜこの指導をするのか」』を常に考えながら、授業づくりをしていくことが大切であると学びました。“自立活動の指導は、オーダーメイドである”と言われるように、本校でも、一人一人の児童生徒の実態に合わせて指導を行えるように、教職員で検討を重ねていきます。14日(水)の研究日には、分科会ごとに1名の児童生徒について教職員で情報共有を行い、1年間どのような目標に向かって自立活動の指導をするのかを話し合いました。改めて意見を交わすことで、児童生徒の新たな一面を知り、教職員で実態把握を共有することができました。

